

お客様各位

2014年11月28日

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	11月28日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.5460	2.5300	2.5020	2.5310	2.5650	+0.0340
	USD/YEN	Spot	118.27	117.93	117.72	117.78	118.76	+0.9800
	EUR/USD	Spot	1.2439	1.2472	1.2514	1.2470	1.2445	-0.0025
	BRL/YEN	Spot	46.45	46.61	47.06	46.53	46.29	-0.2400
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.86	1.97	1.77	1.68	1.55	-0.1290
		1Year(p.a.)	2.37	2.36	2.16	2.09	1.94	-0.1560
Stock	Real Interest	6MTH(p.a.)	11.94	11.96	12.03	12.03	12.12	+0.0832
		1Year(p.a.)	12.24	12.28	12.33	12.28	12.44	+0.1576
Stock	Bovespa		55,407	55,561	55,098	54,721	54,664	-56.96
Bond	CDS Brazil 5y		163.00	156.84	153.81	153.50	153.55	+0.0500
	Global 40		107.350	107.250	107.200	107.300	107.300	u.c.

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィスまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	コメント
GDP(前期比)	0.2%	0.1%	-0.6%	
GDP(前年比)	-0.2%	-0.2%	-0.9%	
純債務対GDP比	36.0%	36.1%	35.9%	
基礎的財政収支	3.5B	3.7B	-25.5B	第3四半期のGDPはブラジル経済の成長が再開したことを示している。

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はU\$1=R\$2.5150で寄り付いた。
- 週初に発表された中銀によるアナリスト予想調査では、2014年のGDP成長率予想が0.21%から0.20%に小幅下方修正された。またインフレ率予想は2014年末が6.40%から6.43%へ、2015年末が6.40%から6.45%へ上方修正された。為替レート予想は2014年末が2.53から2.55へ、2015年末が2.61から2.65へ、いずれもレアル安方向に修正された。先週は新財務相へ期待感から株式市場が強含んだが、週初から利食いが入りボベスバ指数が軟調推移すると、レアルも売り優勢となり2.55台まで下落した。しかし、新財務相として元国庫庁長官のジョアキン・レヴィ氏の指名が濃厚となると、財政改革への期待感からレアルは反発した。
- 週央にかけては米国の住宅指標や消費者信頼感指数、雇用関連指標などが軒並み予想を下回ったことからドルが売られた。更にブラジルの中央政府財政収支が半年振りにプラスに転じたことも相俟って、レアルは週間高値となるU\$1=R\$2.4970を示現した。
- その後、新財務相任命の大きなイベントを前にレアルは利益確定の売りに押されて2.50近辺まで反落した。結局レヴィ氏が予想通り財務相に任命されたが既に相場に織り込み済みで、発表直後の反応は薄かった。しかし、レヴィ氏を含む新しい経済チームの会見で、期待されていた具体的な内容がアナウンスされなかつたため、失望感からレアルは続落した。
- 週末にかけてはOPECの原油産出量据え置きの発表を受けて原油価格が続落したことを受けレアルも売り圧力が強まる中、新経済チームへの期待感の反動もあり、レアルは週間安値となるU\$1=R\$2.5810まで下落し、U\$1=R\$2.5650で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
12/1	FGV CPI IPC-S	Nov-30	0.64%	0.58%
12/1	HSBC ブラジル製造業PMI	Nov	--	49.1
12/1	貿易収支(月次)	Nov	-\$2450M	-\$1177M
12/1	総輸出	Nov	\$16000M	\$18330M
12/1	総輸入	Nov	\$18600M	\$19507M
12/1	自動車販売台数(ブラジル自動車販売店連盟)	Nov	--	306875
12/2	鉱工業生産(前月比)	Oct	0.2%	-0.2%
12/2	鉱工業生産(前年比)	Oct	-3.3%	-2.1%
12/2	CNI設備稼働率(季調済)	Oct	81.5%	81.30%
12/3	HSBC ブラジルコンポジットPMI	Nov	--	48.4
12/3	HSBC ブラジルサービスPMI	Nov	--	48.2
12/3	商品価格指数(前月比)	Nov	--	5.02%
12/3	商品価格指数(前年比)	Nov	--	9.14%
12/3	SELICレート	Dec-03	11.50%	11.25%
12/4	FIPE消費者物価指数(月次)	Nov	0.60%	0.37%
12/4	自動車生産台数(ブラジル自動車工業会)	Nov	--	293328
12/4	自動車販売台数(ブラジル自動車工業会)	Nov	--	306859
12/4	自動車輸出(ブラジル自動車工業会)	Nov	--	23503
12/5	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Nov	1.04%	0.59%
12/5	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Nov	3.99%	3.21%
12/5	IBGEインフレIPCA(前月比)	Nov	0.53%	0.42%
12/5	IBGEインフレIPCA(前年比)	Nov	6.57%	6.59%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：2.50—2.65

今週のリアルの焦点も引き続き新財務相人事だった。週初は期待感からリアルが買われ、人事発表にかけては売られるという典型的なBuy the rumor, Sell the factの相場展開だった。実際、新財務相任命後のレヴィ氏の会見は具体性に乏しく、焦点が定まっていないとの評価も聞こえた。会見では2016年-2017年にプライマリーバランスの対GDP比率を現在の0.5%-0.6%から少なくとも2%にするという目標を掲げられたが具体的な方策は述べられなかった。レヴィ氏の経歴から、一部の市場参加者は今後財政改革が強く進められると期待されていたこともあり、失望売りに繋がった。

来週はCOPOMがあるが、最近食品を中心にインフレ圧力が強まっていることから市場では25bpの利上げが予想されている。短期的にはリアル買いの要因となるが、インフレが経済に及ぼす悪影響を懸念する声の方が強まって来ていることから、リアルの上昇は限定的と見ている。

海外では、欧州でECB理事会や英MPC、米国ではページュブック、米雇用統計など各国で主要なイベントが目白押しとなる。リアル相場に対して最も影響が大きいと思われる的是米雇用統計だろう。市場予想は強めの予想となっており、非農業部門雇用者数が前月比228千人の増加、失業率は5.8%の横這いが予想されている。予想通りならリアルは再び2.6を抜けて下値を探る展開になると予想する。一方、200千人を割れるような弱い数字が出た場合も、リアルサイドの買い材料に乏しく、リアルの上値は限定的と見ている。